

エッサー スチールの共同買収完了



AM/NS Indiaの外観

2019年12月16日、Arcelor Mittal (AM) と日本製鉄はEssar Steel India Limited (ESIL) の共同買収を完了しました。本買収は、両社の合弁会社を通じて実行され、ESILはArcelor Mittal Nippon Steel India (AM/NS India) として新たにスタートします。

AM/NS Indiaの共同買収・再生により、AMと日本製鉄はインド国内に鉄源一貫製鉄所を有する鉄鋼メーカーとして、拡大するインドの鉄鋼需要を中長期的に取り込むことが可能となります。両社はそれぞれの強みを活かし、AM/NS Indiaのポテンシャルを最大限に引き出し、競争力のある鉄鋼メーカーに再生させていきます。

H形鋼9製品が環境ラベルを初取得

日本製鉄は、(一社)サステナブル経営推進機構(SuMPO)が認証する「エコリーフ」環境ラベルを、H形鋼9製品※1で初めて取得しました。エコリーフはライフサイクルアセスメント(LCA)手法を用いて、資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまで、製品のライフサイクル全体を考えた環境情報を定量的に開示するEPD※2認証制度の1つであり、製品の環境負荷を客観的に評価することができます。

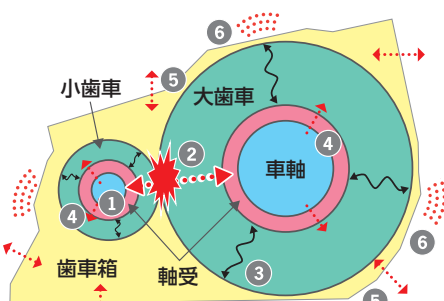


※1 H形鋼、ハイパービーム®、極厚H形鋼(NSGH®鋼含む)、NS-TWH®、H形鋼杭、I形鋼・溝形鋼、CT形鋼、ハイパービーム®CT形鋼、NSFR®鋼。

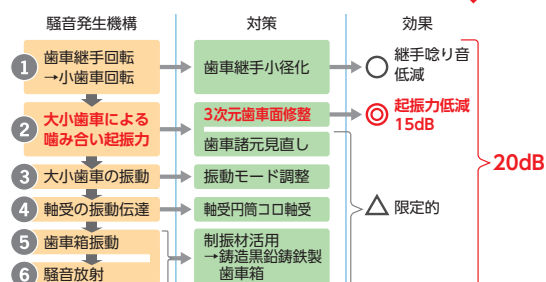
※2 ISO14025規格で規定されているタイプIIIの環境ラベル。定量的環境データを第三者機関が認証して開示するもの。

機械振興協会会長賞を2年連続受賞

日本製鉄は、第54回「機械振興賞」において「鉄道用低騒音歯車装置の開発」で機械振興協会会長賞を受賞、2月19日に表彰式が行われました。昨年に続き2年連続の受賞になります。今回受賞した開発では、小歯車と大歯車の実噛み合い率と接触率を踏まえた新手法に基づき、歯車の噛み合い音の原因である振動起振力を従来品の1/6とする3次元での歯車設計手法を確立。



歯車装置開発の要因発生分析と対策



ソフト開発による高精度・高効率な歯面研削技術も開発しました。

受賞概要

1	製造・生産プロセス部門 経済産業大臣賞 自動車部品の軽量化と材料使用量削減を可能とする超高強度鋼板の加工技術の開発
2	製造・技術開発部門 経済産業大臣賞 (アイシン・エイ・ダブリュ(株)、愛知製鋼(株)と共同受賞) レアメタルレスを可能にした次世代高強度鋼材 MSB20 と歯車の開発
3	製造・生産プロセス部門 優秀賞 LED ドットパターン投影方式平坦度計を用いた高強度熱延鋼板の高精度製造技術
4	製造・技術開発部門 九州経済産業局長賞 (今治造船(株)、海上・港湾・航空技術研究所、(一財)日本海事協会と共同受賞) 高延性厚鋼板の開発による船舶衝突安全性の向上

第8回「ものづくり日本大賞」で4件受賞

日本製鉄は、第8回「ものづくり日本大賞」において、経済産業大臣賞を2件、優秀賞、九州経済産業局長賞の計4件を受賞。1月27日に東京都内で経済産業大臣賞の表彰式と祝賀会が行われました。今回、日本製鉄が受賞した開発は左記のとおりです。



「自動車部品の軽量化と材料使用量削減を可能とする超高強度鋼板の加工技術の開発」の関係者

日本製鉄と日鉄防食(株)が開発したチタン箔による防食工法※が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の種子島宇宙センターで採用されました。本工法はチタン箔で水分や塩分といった劣化・腐食因子の侵入を完全に遮断し、塗膜劣化と鋼材腐食を抑制するため、①メンテナンスの省力化、②ライフサイクルコストの低減、③ロケット発射の定時性への貢献を図ることができます。



施工部

※ 基礎となる部材に厚さ0.1mmのチタン箔と厚さ0.75mmの基材テープからなるチタン箔シートを貼り付け、その上から塗装を行う複合施工



JAXA 種子島宇宙センター

チタン箔による防食工法が JAXA 種子島宇宙センターで初採用

HRX19[®]が 豊洲水素ステーションに採用

日本製鉄と日鉄ステンレス鋼管(株)が製造・販売する高圧水素用ステンレス鋼「HRX19」が、1月16日に開所した「豊洲水素ステーション」に採用されました。今回 HRX19 の溶接施工を採用したことで、設備の鋼材重量低減・コンパクト化、安全性・メンテナンス性の向上を実現するとともに、高強度化による配管の薄肉設計で水素の高速充填を可能としています。



HRX19(左端)



10年連続「ECO・VC賞」金賞を受賞

日本製鉄は2019年度のパナソニック(株)主催のエクセレントパートナーズミーティングで「ECO・VC賞」金賞を受賞しました。本賞は、パナソニックグループの全購入先を対象に募集し、同社商品のCO₂削減や商品力強化に結び付く応募から、特に優秀と認められたものに贈られています。日本製鉄が提案した「高加工性白色ビュコート[®]」の適用で、同社での後塗装省略によるコストダウンや品質改善、生産性向上を実現したことが評価されました。

機材調達部 パートナー表彰

日本製鉄は機材調達部の2019年度最優秀パートナーとして、朝日スチール工業(株)、(株)奥村組、(株)ニッケンフェンス&メタルを表彰、記念の盾と賞状を贈呈しました。本賞は日本製鉄の品質改善やコスト改善に多大な貢献をいただいた取引先企業に対し、感謝の意を表するもので、さらなるパートナーシップの深化と広く優れた改善提案の活性化への期待を込めて、工場や職場を訪問し表彰しています。



広報誌バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。なお、定期送付ご希望の方は上記アドレスよりお申し込みください。

<https://www.nipponsteel.com/company/publications/quarterly-nipponsteel/index.html>